

株式会社ジェイコム東京 西エリア局
2021 年度 放送番組審議会 議事録

2021 年度放送番組審議会は、2022 年 3 月 30 日(水) 株式会社ジェイコム東京 西エリア局
(小金井市) にて開催された。

【放送番組審議会委員】(順不同)

渡邊 嘉二郎 様
武田 千香 様
柴内 康文 様
込山 雄茂 様
福本 眞也 様
本川 交 様
杉本 守啓 様
梶田 斉邦 様
廣田 豊之 様 (ご欠席)

審議会会長 副会長の選任
会長に渡邊委員 副会長に武田委員を選任した。

【審議】

進行： 渡邊会長 武田副会長

◆はじめに

渡邊会長より 2020 年度 放送番組審議会 議事録が紹介された。
事業者側から J:COM チャンネルについて報告があった。

◆「シミンのトビラ」について

委員

・2020 年に「青少年のための科学の祭典」の模様を取り上げてもらい、対面開催ができな
い中で番組を通して皆が見てくれたのが本当に良かった。またそれまで継続していたイベ
ントを繋いでこられたのもケーブルテレビのおかげだと感じている。

委員

- ・市民の活動を紹介する番組が、地域のケーブルテレビの放送の中にあることは大事である。
- ・団体の活動によって中身のテイストは変わってくるので、中身によっては見る、見ないが出てくる。分野の違う2つの団体を取り上げ放送できるのであれば、視聴者も見erkつけになる。
- ・どこで主に活動されている団体なのか、もう少し丁寧に紹介していただけるとより親しみが湧く。

委員

- ・コロナ禍において団体の活動が制限されている状況なので、こうした番組が団体の活動やモチベーションになるのは間違いない。引き続き番組を通じて団体を紹介してほしい。
- ・放送回数も増えとても有難い。
- ・出演団体の国分寺市から9団体、小金井市22団体とあり、国分寺市も頑張らないといけないと思っている。国分寺市の団体も紹介するので是非番組で取り上げてほしい。

委員

- ・長尺だが、ノーカットで視聴し目が離せなくなってしまった。なかなか切れない感じで本当に見応えがあった。
- ・コロナということだけではなく、テレビに映り見てもらう事がモチベーションにつながる。
- ・プロの放送技術で広く流せるのは、団体にとっても良い経験であり喜びにつながる。地域市民活動を活性化していく意味で良い。
- ・様々な団体があると思うので、掘り起こし方が課題である。

委員

- ・非常に楽しい番組で身近に感じられる演奏会であった。会場の観客の様子を映せたら番組としても盛り上がる。
- ・団体の内容次第では2団体程度を取り上げてよい。
- ・音楽系が多いので、芸術系など美術館的な内容をじっくり観る内容の番組があると良い。

委員

- ・1時間という長尺にも関わらず素晴らしい出来であるが、放送されている団体の地域が視聴者の住む地域と違った時に興味をもって観るかは難しい。そうなった時の代わりの番組がない。
- ・民放にはいくつかチャンネルがあり、興味がなかった時には違う民放の番組を観られる

が、J:COM にはそれがない。

- ・番組告知を行い、予め放送内容が分かるようにした方が良い。
- ・団体を選んでいる基準について一般市民が見てわかり易い説明があってもよい。
- ・3月から放送エリアが広がる事は素晴らしいことだが、番組構成が増えるとなってくると本当に見たい番組のエリアがどの位の周期で回ってくるのか気掛かりなので、そのあたりも考えてほしい。

委員

- ・事業者より J:COM チャンネル全般の報告があり、昨年度の課題がほぼ全体的に網羅されていたが 100%という意味ではなく今後も本日出た意見を含めてより良いものにしていただきたい。
- ・なかなか良くできた作品。演奏者の表情を見たい思いがあり、表情が見られるとなお感動があると感じた。

委員

- ・市民がやっている事を取り上げ、それをノーカットで放送するのは貴重な機会。
- ・自分の興味のある、好きなジャンルではい場合に、どの程度視聴に影響があるのかと感じた。
- ・出演団体の出演した感想を紹介されたが、視聴者からの声はどういうものが届いているのか。
- ・市民活動の活性化や市民が主役というところはとても意義がある。
- ・例えば番組では短尺にして、長尺のノーカットは J:COM のホームページ (YouTube) で観られるようにする等の方法もあると思う。
- ・“多くの人に観てもらう” 課題と “市民が主役” という課題、この2つを両立させる事が必要。その為には “個” も大事だが、それを “汎用性” “普遍性” まで高める工夫も必要。市民の活動を放送する中で、直接関係ない人にも楽しんでもらう、普遍的な番組にするというところが課題。

委員

- ・許可を得る必要があるが、観客の笑顔や歓声とかがどのくらい入っているかで番組の面白さが更に湧いてくる。例えば観客席の一部だけでも交渉して映すようにしても良い。

委員

- ・視聴者感覚で引き込まれて見てしまい、つい番組を視聴しながらイベント内容や活動団体についてその場で検索した。番組内で出演団体の紹介をする事で各団体の活動が更に活性化したらよい。

◆「府中市敬老の日記念番組」について

委員

- ・番組の構成がとても楽しく、ナビゲーターのキャラクターも明るい方で、ずっと楽しく視聴できた。
- ・府中市、小金井市、国分寺市のそれぞれの地区の内容を、一本の番組にできたらと感じた。
- ・番組を制作する為の準備期間を知りたい。

委員

- ・皆さんがお集まりになれない中での代替えとして番組の制作をお願いした。
- ・参加のできないお孫さんのいる方々からの声が市にも届き、テレビというツールが行政のイベントに関心を持っていただけるきっかけなると改めて気づかされた。
- ・まだまだテレビというツールの効果は大きな部分があると再認識できた番組であった。

委員

- ・市民生活を豊かにするという部分で大変良い番組だと印象を持った。
- ・見栄晴さんが出演しておりスパイスが効いて楽しく見られた。
- ・クイズを出してから正解までが長く感じた。
- ・画面全体が少し暗い印象を受けたので、もっと明るくしてもよいと感じた。
- ・番組としてはとにかく企画が大変良く最後まで楽しめる番組であった。

委員

- ・大変見応えがあり引き込まれる内容の番組であった
- ・画面の暗さなど少し気になる箇所もあったのでスタジオで収録するなど明るさが確保できるとよい。
- ・改めて地域やコミュニティを作るのは、番組内容にあった様な共通の思い出や体験などが大事であると感じた。
- ・商店街での思い出話や 3 億円事件など、そういった記憶がこの街に自分たちが生きてきたという事であり重要である。そういったものをどうやって掘り起こしていくのかが、コミュニティチャンネルにとって大事である。

委員

- ・本当に良い番組を作られたと思った。
- ・敬老の日を軸にして、お祝いされる方々の元気な姿を観られた事はとても良いことだと思う。
- ・府中市の人達の紹介をしながら、歴史や文化、教養、福祉、そういったものが全部盛り込

まれており、非常によい番組である。

- ・府中市を散策するクイズは、進行が男性ひとりだと寂しいなと感じた。地元の方など一緒に歩かれるとよいと感じた。
- ・高野市長のご挨拶のタイミングは番組冒頭でなくとも良いと感じた。

委員

- ・番組を拝見し、とても興味が湧きこれは面白い番組だなと思った。
- ・クイズでは府中市の昔の映像が出てきた。それまで府中の事は詳しく知らなかったが、隣の市でありながらも興味が持て、これはとても羨ましい番組を府中市で制作されたと感じた。国分寺市や小金井市でも制作してほしい。
- ・例えば地域のこんな桜が素晴らしい、昔はこんな場所から花火が見られたが今は高層化で見られないなど、様々な地域の歴史を振り返りながら制作するとおそらく若い子たちが見ても、昔この街はこうだったと気づくこともできるので更に良い番組になると感じた。
- ・市民が視聴した時に自分たちの応援ツールだという感覚をもってくだされば「J:COM を見よう」という気持ちになっていくと思う。
- ・今回のこの番組は非常に羨ましかった番組であったので、是非とも国分寺市や小金井市でお願いしたい。
- ・興味のあるなしではなく、街についての勉強にもなるのでとても有意義な番組であり、純粋に非常に楽しめた番組であった。

委員

- ・「シニアクラブ若葉会」や「ふぁぶらぼ☆くらぶ」の方が出てきて、見栄晴さんとクイズ形式での街の紹介は飽きないで見ることができた。
- ・最後は若い子のダンスがあって若い子たちも入ってきている事で、とても工夫されている番組だと感じ、地域と密着とした番組の代表例だと感じた。
- ・印象は3つ。「とても良い番組」「なぜ小金井市はないのか」、「府中市に行ってみよう」府中市へ何度か行っているがもう一回散策してみたい気持ちになった。昔ただ通り過ぎた場所も「こんな事があったのだ」と、もう一度散策したい気持ちになり、国分寺市や小金井市で制作しても同じ様な気持ちになれるのだろうと感じた。
- ・今後に非常に期待のできる番組の作り方だと印象を受けた。

委員

- ・つい最後まで引き込まれて見てしまい、そういう意味で「あつ、これかな」と感じた。
- ・“市民が主役”“見てもらわなくてはならない”この2つをどの様に両立させるかだが、この番組は成功していると感じた。
- ・“個”を扱いながら、“普遍”まではいかないけれども“個”を“共有”できている番組で

あると感じた。

- ・昨年度、番組を観てもらった為に地域の歴史を扱ったらいいのではないかと話したが、“自分が住んでいるところ”“ゆかりのあるところ”特に過去 50 年ぐらいの歴史というのがミソであると感じた。自分の幼少の頃が絡み懐かしさも手伝い、興味も湧き関心も持ってもらえる。“懐かしさ”というのがキーワードだと感じ、それによって番組のファンを増やす事ができる。

- ・この番組に出演している市民の方々が生き生きと話をしていた事が特に驚かされ感心し引き付けられた。自分から話し始め、自分の過去を語っている。これがまさに“市民が主役”になっていると感じた。

- ・ブラタモリ的な番組だと感じたが、この番組を更に地域に密着したブラタモリ的な番組にして良いと感じた。

◆その他ご意見

委員

- ・「ど・ろーかる」アプリはなかなか良いが、「シミンのトビラ」や「府中市敬老の日記念番組」なども流したりする等、見やすくして欲しい。
- ・中高生や大学生になるとテレビはほとんど見ていない。彼らにどう見せるかという観点からスマホで見やすくするのが一番ではないか。
- ・防災情報は NHK に任せておけばよいと思う。

委員

- ・「ニュースを見たい」と思った時に、必ずテレビのどこかでやっているとは限らないので、J:COM で全国ニュースとローカルニュースとを組み合わせたものを頻繁に放送できれば、全国のニュースを見たい人、同時に地域のローカルニュースも見てくれる。そうすることで上手く視聴サイクルができると感じた。

事業者

- ・長い時間にわたり活発なご意見をありがとうございました。
- ・細部にわたり、また大きな番組の在り方について、たくさん良いご意見、厳しいご意見をいただいた。これらをしっかり番組の改善や編成の改善に生かして、もっと市民に愛される番組にしていきたいと思っており、引き続き一同頑張ってまいりたい。

以上